

■ベアリングの内輪が、軸に圧入されている場合

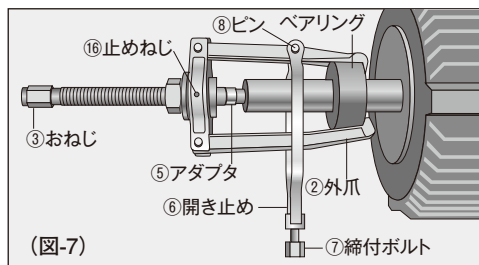
使用例 3 スタンドプーラを使用する …… **BP60型**

●組立て方

1. スタンドプーラの②外爪に、⑥開き止めを取付けて下さい。(図-7)

●作業の順序

1. スタンドプーラの②外爪をベアリングの外輪に引っ掛けて下さい。(図-7)
2. ②外爪がベアリングの外輪より外れないように、スパナ等で⑦締付ボルトを締めて下さい。
3. ⑩六角棒スパナ4mmで①本体の⑬止めねじを締めて下さい。
4. ⑤アダプタが軸端のセンタ穴に届くまで③おねじを締め込み、スパナ等で③おねじの六角頭部を締めて、ベアリングを抜き取って下さい。
5. 通常は上記作業でベアリングの抜き取りは可能ですが、錆付いたり焼付いたベアリングの抜き取りの場合は、⑩六角棒スパナ4mmで①本体の⑬止めねじを少し緩めた状態で、③おねじの六角頭部へハンマー等の打撃で衝撃を与えることにより、引き抜くことができます。



内外輪引抜能力表

内 品 番	内輪引抜能力(mm)		適合ベアリング末尾番号	セット	
	直径(内径) Max.	幅(厚み) Max.		BP60型	BH32型
BPJ 0	10 ~13	12	00 ・ 01	○	●
BPJ 1	12 ~15	13	01 ・ 02	○	●
BPJ 2	15 ~20	15	02・03・04	○	●
BPJ 3	20 ~25	17	04 ・ 05	○	●
BPJ 4	25 ~32	20	05 ・ 06	○	●
BPJ 5	34.5~41.5	23	07 ・ 08	○	—
BPJ 6	44 ~51	27	09 ・ 10	○	—
BPJ 7	55 ~60	31	11 ・ 12	○	—

注: ベアリング番号はJISの呼び番号の下2桁を表わしたものです。

スタンドプーラ 品 番	外輪引抜能力(mm)		爪の届く長さ (mm)	おねじ六角対辺 (mm)	保証荷重 ton
	直 径	幅 Max.			
BPS 6	45~150	55	150	22	6.0

⚠ 注意

- ◆ 工具は本来の使用目的以外には使用しないで下さい。
- ◆ 偏荷重の状態での使用はしないで下さい。
- ◆ 無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにして下さい。
- ◆ 割れ、欠け、摩耗、変形等の異常が認められた場合は使用しないで下さい。
- ◆ 改造しないで下さい。加熱、加工等をした場合は、著しく品質(強度)の低下を招きます。

製造・発売元
株式会社 **スーパーツール**
<https://www.supertool.co.jp/>

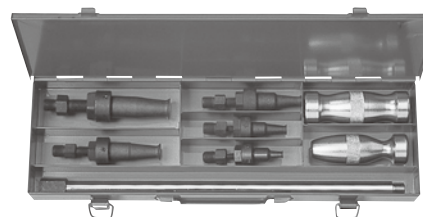


〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地
TEL.072-236-5521代表

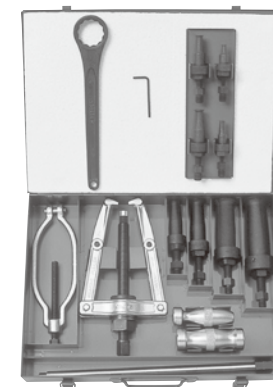
'24.6 ©



スーパ ベアリングプーラ BP60・BH32



スライドハンマベアリングプーラセット
BH32型

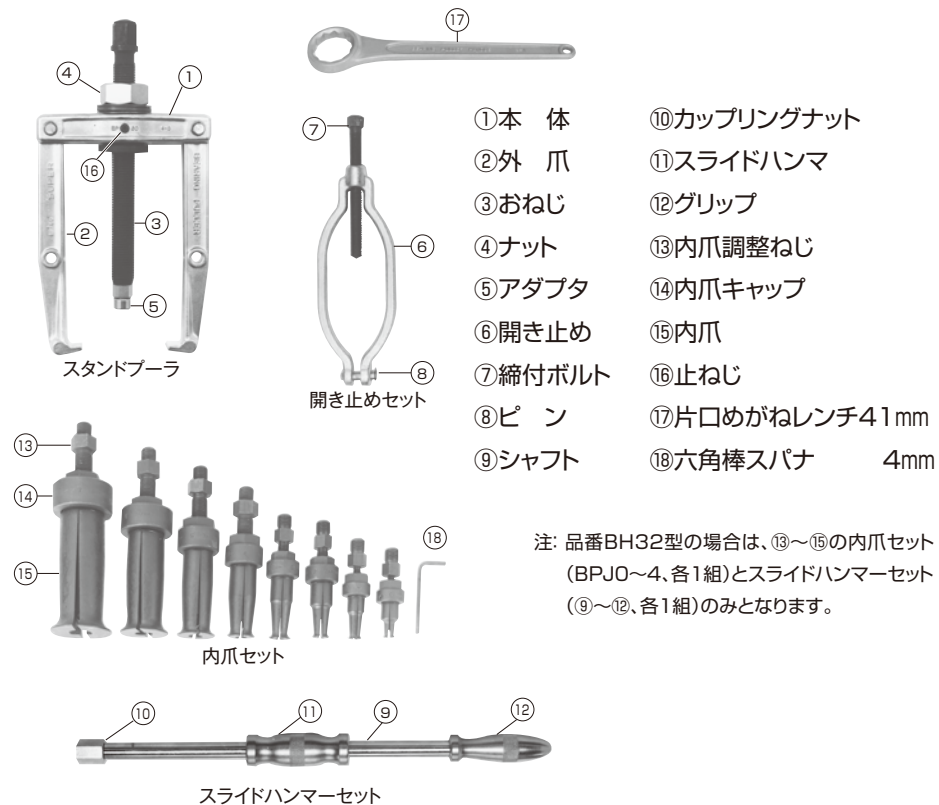


ベアリングプーラセットBP60型

取扱説明書

- この取扱説明書は、ベアリングプーラの基本的なご使用方法および扱い方について説明しております。
- ご使用前によくお読み頂き、安全作業のため使用上の注意を守って正しくお使い下さい。

内容明細

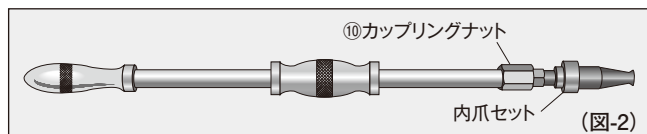
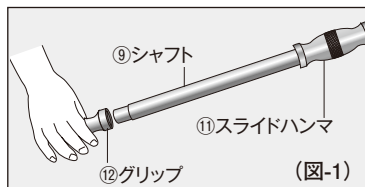


■ベアリングの外輪が、ケース等に圧入されている場合

使用例 1 スライドハンマを使用する場合 …… **BP60型** **BP32型**
(はめ合いの弱い時)

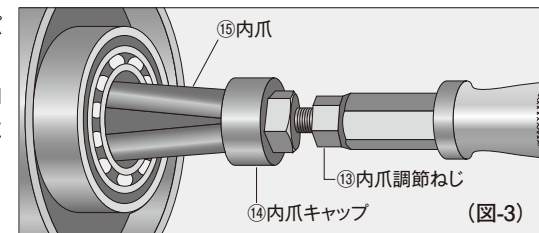
●組立て方

- ⑨シャフトに⑪スライドハンマを挿入し、⑫グリップをねじ込んで下さい。(図-1)
- その反対側の⑩カップリングナットへ、ベアリング内輪寸法に応じた内爪セット(引抜能力表参照)を取りつけて下さい。(図-2)

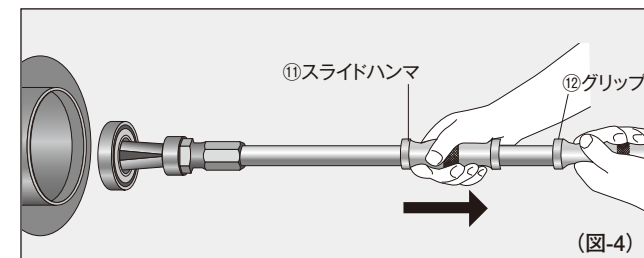


●作業の順序

- ベアリングの内輪に⑮内爪を入れて、スパナ等で、⑭内爪キャップの六角部を固定し、⑬内爪調整ねじの六角部を右へ回すと⑮内爪が開いてベアリングを引っ掛けた状態になります。(図-3)



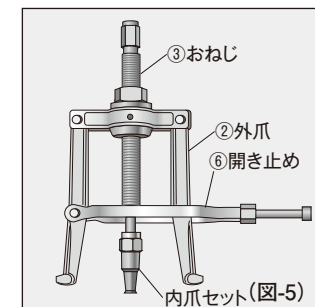
- ⑪スライドハンマを往復運動させ手前の⑫グリップに強く当てることにより、ベアリングに衝撃を与えて引き抜くことができます。(図-4)



使用例 2 スタンドブーラを使用する場合 …… **BP60型**
(はめ合いの強い時)

●組立て方

- スタンドブーラの②外爪を外し、引っ掛ける部分を外向けにして再びセットして下さい。
- スタンドブーラの②外爪に⑥開き止めを取付けて下さい。
- ③おねじの先端にある⑤アダプタを外して、引き抜くベアリングの内輪寸法に応じた内爪セット(引抜能力表参照)を取付けて下さい。(図-5)



●作業の順序

- ⑮内爪をベアリング内輪に挿入し、⑭内爪キャップの六角部をスパナ等で固定し③おねじの六角頭部を回して下さい。
- ③おねじを回して⑮内爪がベアリング底部で広がり、ベアリングにしっかりと引っ掛かる状態まで締付けて下さい。
- ⑱六角棒スパナ4mmで①本体の⑯止ねじを少し緩めて下さい。
- スパナ等で③おねじの六角頭部を固定し、⑰片口めがねレンチ41mmで④ナットを右へ回して締付けて、ベアリングを抜き取して下さい。(図-6)

